

有陰徳者必享其榮

(校名の由来額)



(細江利夫会長あいさつ)

享栄会報

平成24年11月吉日
第39号

名古屋市瑞穂区
汐路町1-26

享栄同窓会事務局
052-841-8151

会報編集委員会
委員長 澤山 晃

次回総会及び懇親会のご案内

平成25年度

享栄同窓会総会・懇親会を次の通り開催する予定です。

尚、今年度は学園創立100周年にあたりますので、

懇親会は総会とは別に学園主催の記念式典日に行います。
会員誘い合わせて是非ご参加ください。

【総会】

一、日時 平成25年6月15日(土)

二、時間 午後2時

三、場所 享栄高等学校視聴覚室

四、議題

1. 平成24年度事業報告
2. 平成24年度収支決算報告
3. 平成25年度事業計画(案)
4. 平成25年度収支予算(案)
5. その他

【記念式典 及び 懇親会】

一、日時 平成25年9月29日(日)

二、場所 名古屋市公会堂

昭和区鶴舞1の1の3

JR鶴舞駅または地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車徒歩3分

三、時間 記念式典：午後2時 懇親会：午後4時

四、会費 三、〇〇〇円

追記

本会報は終身会員(年会費二万円納入済)の方に送らせていただきました。



同窓会総会で

享栄同窓会会長

細江 利夫
(昭和40年卒)

二十四年度同窓会総会も会員皆様の参加を賜り盛大に開催できました事に對し厚く御礼申し上げます。

今年度は、横井信二先生(前同窓会事務局長)が国家褒賞の勲五等双光章の勲章を受けられました。この賞は、学校教育関係に多大なる貢献をされた方に授与されている賞との事です。私たちの同窓会の同志から、この様な名誉ある表彰を受けられました事は誠に喜ばしい事と思います。同窓会として金一封を贈呈しお祝いさせて頂きました。今後もお身体をご自愛されて地域等で活躍される事を願っております。

さて、二〇一三年には享栄学園創立百周年の記念事業も行われます。毎年一月に東区小文化劇場にて定期演奏会を開催しております。年を重ねる事で演奏もレベルアップして来ております。指導の先生も菅沼先生から山林先生に替わられて菅沼先生の指導教育を踏襲され今後の山林先生のご指導に期待をしております。来年二月に第二十二回定期演奏会を開催いたしますので是非、皆様に「こ来場頂き激励をして頂きますようお願いします。今後吹奏楽部の益々の発展を願っております。」

会員の皆様二十五年度も六月に総会を開催いたします。皆様のお元気なお顔を拝見させて頂きたく願っております。どうか万障繰り合わせてご出席賜りますようお願い申し上げます。



平成24年度 享栄同窓会総会

同窓会のみなさまへ

享栄学園 学園長

長谷川 信孝



享栄学園3法人化

独立採算制へ

9月29日
朝日新聞朝刊に掲載された記事です。

同窓会のみなさま、日頃より享栄高校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。また、6月に行われた同窓会総会にて「享栄学園創立100周年」に多大なるご寄付を承認して頂き誠にありがとうございます。心から感謝いたします。

(新聞記事参照)

享栄高校(名古屋市)などを経営する学校法人「享栄学園」(本部・三東県鈴鹿市)は28日、経営改革・改善の意思決定を迅速化するため、法人を三つに分ける手続を進め、愛知、三重両県と文部科学省の認可を経て来年4月から実施する、と発表した。

同学園は、而して大学・短大・高校・中学校・幼稚園・保育園(名古屋市中区)を有する。定員制(97%)、鈴鹿大(97%)、鈴鹿中(96・9%)、鈴鹿小(96・9%)と、鈴鹿市にある施設が目立つ。この13年間を振り返っても、7施設を振り回し、役員不足は84・7%から99%と定員を下回っている。

垣尾副理事長は「教務施設が愛知、三重にまたがり、それぞれの特性、教育方針が多様となり、時代の変化に迅速に対応できない状況で、法人を分離し、選ばれる学校づくりを急ぐ」としている。(佐野恵)

創立100周年に向けて
日々の時間を使いきる享栄学園理事長
鈴鹿短期大学学長 理学博士

佐治 晴夫



中国の古い文献「淮南子」を紐解いてみると、字は「四方上下」、すなわち空間、そして、宙は「往古来今」、すなわち時間であると記されています。その一方で、私たちが生きているということは、体で空間の一部を占有し、過去から未来へと流れる時間の川を泳いでいるかのような存在だともいえます。つまり、人生そのものが、そのまま宇宙の姿であるといってもいいでしょう。いつてみてても、私たちにとって、

時間を感じることはあっても、直接目で見えることはできません。時間の不思議です。時間は存在するのでしょうか。

さて、享栄学園は、来年には創立100周年を迎えます。つまり、現在ある享栄高校は100年という時間の積み重ねの結果として存在するわけですが、過去は過ぎ去ったものから存在せず、未来は未だ到来していないのですから存在しません。存在するのは、「今」ところで、その時間経過の刻みを計っているのが、心臓の鼓動、すなわち脈拍です。生物学の見地

というこの瞬だけです。となると、過ぎてゆくと感じられる時間の実体とは何なのでしょう。うか。実は、物理学の世界では、時間とは、物事が生起する後、先を決める尺度のようなもので、絶対的存在だとは考えていません。たとえば、振り子の運動や、ボールを真上に投げ上げる情景をビデオに撮り、それを逆回しして再生してみても、同じ場面が見えるだけで、過去、現在の区別はつきません。私たち人間の時間感覚は、記憶されるものが過去で、記憶され得ないものが未来だと感じているに過ぎません。

からいえば、地球上に存在するすべての哺乳類、すなわち、小はハツカネズミ、大はゾウ、クジラに至るまで、一生のうち脈打つ心拍数は20億回を超えることはできないそうです。その20億回をいかに使いきるかが人生のすべてを決定するといつてもよさそうです。つまり、時間は美しい幻想であつて、鼓動を一回二回重ねながら、時間を創り上げていくことこそが生きているということのようです。ローマ時代の哲人セネカによれば「人生が短いのではない。それを短くしているのは人間なのだ」ということなのでしょう。私たちは一丸となつて、明日への享栄の歴史を創り、そして伝承するために、一日一日を使いきっていたきたいと心から念じる次第です。

享栄高校は、平成25年4月1日に「学校法人 愛知享栄学園 享栄高等学校」として新たに出発します。今回、法人名が変更になります。今年100年を迎える「享栄高校」として伝統は何も変わりはありません。

先ずは、学園分離に関して報告します。



同窓会の皆様へ

享栄高等学校 校長
南保 眞一

同窓会の皆様には平素より本校の教育活動・学校運営を行うにあたりご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。また、生徒に対しまして奨学金を授与していただくなど物心両面にわたりご支援をいただいております。感謝をいたします。

本校の指導における基本理念は「生徒ひとりひとりを大切に、自己実現を促すことができる教育」目指す学校像は「面倒見の良い学校」を礎として、1.きめ細かく丁寧な教育をする学校、2.夢と感動のある学校、3.安心できる学校、4.地域に評価される学校の4項目を掲げ、その実現に向けて日々精進いたしております。

社会情勢が依然厳しい状況にありますが希望者全員、内定をいただけるように指導をしております。進学についても同様、進学補習・学習合宿等を行い学力の向上をはかり志望校への入学が実現するように努めております。

さて来年2013年は享栄高等学校にとりまして節目の年を迎えます。1913年（大正2年）6月1日、名古屋市中区に創立者堀榮二先生によつて開設されました「英習字簿記学会」なる私塾は、幾多の変遷を経て、1925年（大正14年）瑞穂区汐路町に移転し現在の享栄高等学校となりました。それから88年目にあたる明年、いよいよ創立100周年を迎えることとなります。このことは同窓生約34,000有余名の皆様に

とりましてもとても喜ばしく、誇らしきことであると拝察いたします。ここに至るまでには学校の存続が危ぶまれるほどの危機的な状況に何度も見舞われてきております。

1983年（昭和58年）刊行の「享栄学園七十年史」には、1945年（昭和20年）3月18日・5月17日の二度にわたる空襲によつて享栄商業学校は「物も残さず焼失してしまつた」と記されております。ゼロからの再建となつたことは学校関係者にとりまして想像を絶するような「艱難辛苦」を共にされたことと察します。学校運営に携わつてこられた本当に多くの方々の努力・精進があつたからこそ今があると思います。我々教職員一同に課せられました使命の大切さ・重さを心に留めてこれからも前進していく所存です。

同窓会のみなさまにはこれからも絶大なるご理解とご協力、そしてご支援をお願いいたします。



ご挨拶 同窓会監事退任

平光 政見
（昭和30年卒）

去る六月十六日の平成二十四年度同窓会総会をもつて監事の職を退任させて頂きました。平成十六年監事に就任以来いまは亡き成田会長、細江会長はじめ諸先輩、学校関係諸先生がた、同窓会役員、会員の皆さまの温かいご指導とご厚情に支えられましたことに深く感謝申し上げます。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

「縁」あつて六十年前前に家業を継ぐ予定でしたが心変わりいたしまして急遽進学する事となり、自分自身で願書を取り揃え親の許しを得て入学することとなり母校に学び、卒業就職、定年退職するまでサラリーマン生活四十数年間、縁あつて母校享栄に学び今日まで過ごすことが出来ました。

改めて感謝しております。私が現在あるのは両親はじめ多くの先輩方々にお世話になり謝しても謝しがたく師教の恩沢であり厚く御礼申し上げます。来年初も七十七歳を迎えます。それはつこの区切り過ぎません。後はいかほどの命を授かっているのかは知るよしもありませんが残された日々を大切に、地域社会の為にボランティア活動に参加してまいりたいと思います。退任に当つて今日までのご指導に深く感謝申し上げますとともに「生かされている」という喜びを体得させていただいていることに大きな幸せを感じます。最後に学園の益々のご発展と同窓会各位の充実とご活躍を祈念申し上げます。挨拶にかえさせていただきます。本当にありがとうございます。



享栄学園創立百周年に当って

横井 信一
（昭和16年卒）

私が享栄商業学校に入学したのは昭和12年4月でした。当時は木造2階建の立派な校舎でした。

初代校長の堀榮二先生が毎朝正門に立つて生徒の登校状態を見守り、生徒からの挨拶を受けておられました。正門を入ると神社があつて生徒は拝礼をし校舎に入つたものでした。校長先生は神佛を尊敬し、厳しい中にも慈愛に満ちた先生でした。私達は戦時中の第

一回繰上卒業により、昭和16年12月に第20回卒業生として卒業しました。同期生の中には少年志願兵として軍隊に入隊した者もありました。空襲も何回かあつて名古屋の街並みも焼土と化していきましました。想えば小学生たちは田舎に集団疎開、中学生は工場に勤労動員、大学生は早期繰上卒業で軍隊に入隊し、戦場に赴くという本当に慌ただしい年月を過しました。

昭和20年8月終戦となり、静かな世の中にはなりましたが街は焼野が原になつて見る影もありませんでした。

しかし、残された国民は食べ物の不足、物の不足を我慢し、皆が助けあつて生活し、次第に安定を取り戻し街並みも戦前以上に賑やかになり今日の豊かな社会を造りあげました。

享栄学園も来年度は創立100周年を迎える事になり、この間に色々な御苦労もあつた事とは思いますが、この間に素晴らしい発展を遂げて来られました。100周年というこの栄誉をいつまでも保持し、ますます発展されます事を

お祈りし、期待しております。

さて私事で失礼かと思いますが、平成24年春の授勲の折、高令者による瑞宝双光章を頂戴しました。その節には享栄同窓会からも総会の折に御祝意を戴き感激ひときわでした。功績としては中学校教員として永年勤め、最後は中学校校長として永年退職しました。その後、享栄高校教員、同窓会事務局で10年程勤め、その後も地域の各種団体委員長・会長・理事などを務めて、88才を迎えた現在も一部役職が続いております。

こうした栄誉も皆様方の御蔭と感謝しております。皆様も元氣でお過ごし下さい。



誠実で信頼される人に：

海老沼勝人

(昭和60年卒)



昭和57年4月 正直申し上げ何の目標もなく私はこの享栄高等学校に入学をいたしました。中学時代に水泳をしており、県大会・全国大会に出場はするものの決勝には残れずに「鳴かず飛ばす」の成績でいた事を記憶しています。そんな目標もなく「虫ケラ」の様になっていた時期にこの享栄高等学校で素

晴らしい教職員の皆様、そして仲間友人に巡り会え、人生での大きな転機を迎える事となりました。現在ではとても「きれいな校舎」ですが当時はとてもきれいと云えませんが、そんな学校での生活が始まり、(故)青山校長、(故)近藤教頭、二年間担任をしていただいた竹中先生…この享栄高等学校の先生方には、「全

同窓会でできた新しい絆

金田 智美

(平成5年卒(通信制))



卒業してからは地元が同じ友人とは交流はありましたが、それ以外の人とは結婚や出産を機に交流がなくなっていました。昨年の十二月に地元メンバーで集まったとき友人の一人が、「ほかのみんなも元気にしてるのかな? みんなにも会いた

いよね。」という何気ない一言から、同期会を開くことになりました。準備はいろいろと大変でしたが先生方の協力もあり、今年の三月に開くことができました。出席は数十人程度でしたが、人数が少なかつた分、参加者全員と交流をもつこ

とことができました。同じクラスになったことのない人とも意気投合し、新しい友人もできました。この同期会をきっかけに先生方とも交流をもつようになり、六月には享栄高校の同窓会に出席することになりました。いつもの地元メンバーは都合が合わず出席できず残念でしたが、新しい友人たちと行くことになりました。友人になつたとは言っても、メールの交換くらいだったので最初は少し不安でした。でも、会って数分後には不安はなくなり、同

窓会を楽しむことができました。何年たっても変わらない絆があれば、新しくできる絆もあるということを知りました。これからも、変わらぬ友情と新しくできた友情を大切にしていきたいと思えます。同窓会という交流の場を持たせてくれた先生方にはとても感謝しています。私たち通信制の卒業生が学んだ鶴舞の校舎は残念ながらありませんが、こうして先生方とお会いできる場があることを、改めて実感できました。ありがとうございました。

様々な挑戦の三年間

加藤 聖大

(平成13年卒)



皆さん、こんにちは。私は平成十三年三月に卒業しました。私の在校時といえは「いろいろなことへの挑戦」でした。まず、入学してすぐに行った乗鞍野外合宿では、ハイキングの完歩が一つの挑戦でした。ハイキング当日は天候に恵まれず、大変でしたが何とか完歩できました。また、二年生では四泊五日のスキー修学旅行に行きました。私はスキーは未経験だったので、

初心者コースに入りました。講師の方のおかげで滑れるようになりました。また、三年間通しての挑戦は、資格取得でした。最初は資格を取得するなんて難しいから無理だろうと思っていました。しかし、授業で検定を受けて不合格だったときには、次こそは合格するぞ! と思ったり、合格した検定はさらに上を目指すんだ! と意気込み、いつしか資格取得が挑

戦となっていました。その結果、「技術顕彰証書」をいただくことができました。そのときに挑戦と努力を実感しました。また、部活動の面では、ワープロ部と理科部に入学しました。理科部では文化祭での公開実験、展示など盛り上がりしました。ワープロ部では、ワープロ検定合格に向けて日々練習をしていました。ワープロ部と理科部では、初めて部長を経験しました。初めてなので、不安も多かったですが、これも挑戦ということで頑張ろうと思えました。顧問の先生や後輩に支えられながら部長をすることができました。とても感謝しています。後輩たちとは今も交流して楽しんでいます。

を行います。さらには、ワープロ検定は、日々の練習もあり、二級に合格することができました。また、全国大会にも出場することができました。結果は残念ながら力及びませんでした。結果は賞をいただくことができませんでした。また、甲子園にも応援に行くことができました。とても貴重な体験ができてよかったです。この高校三年間で経験したことは、楽しいことばかりではありませんでしたが、私自身にとって最高の思い出となりました。今の自分があるのも高校三年間の経験だと思います。お世話になった先生方ありがとうございました。本当に素晴らしい三年間でした。

を行っています。享栄高等学校を卒業して四半世紀が過ぎ、改めて享栄で共に笑い、泣き、共に歩んだ仲間。「人としての道・心・義」を諸先生方にお教えただけな事が今でも最高の宝となっています。現職の先生方そして後輩の皆さん、この享栄高校の歴史を大切に大切に重ねていくことを願います。その歴史のページに私も仲間や諸先輩方と共にいたことを光栄に思います。未筆でございまして享栄学園の更なる発展と後輩の皆さんの活躍を祈念いたしております。そして諸先生皆様：誠にありがとうございました。

食を通じて、お客様へ安心と健康をお届けして 50 年。トヨタ自動車(株)様・トヨタ関連企業様をはじめ、数多くのお客様から信頼をいただいております。

企業・学校内食堂の受託運営及び仕出し料理のご用命は

中川給食株式会社

代表取締役社長 岩 月 宏 之 (昭和 36 年卒)

豊田市土橋町5-38 TEL (0565) 28-0948

中川給食のホームページ <http://n-kyushoku.co.jp>



恩師だより

矢野 好明

激しい夏の暑さも終わり、卒業生の皆様にはご健勝のことと思います。本校も来年の創立百周年に向けて教職員、生徒一同毎日の教育活動に励んでいます。私も今年の四月に還暦を迎え教員生活も後わずかとなりました。現職の身で恩師だよりというのもしささか妙な気持ちですが、享栄の祖であられる堀榮二先生、堀敬文先生の「誠実で信頼される人」という教えを基に、一年でも長く教員生活に励む覚悟で頑張っています。

さて最近では以前から問題視されていた、いじめによる事件が大きく世間を騒がせています。この問題は学校現場の教員はもとより、児童生徒の親、保護者

にかかる責任の重さは言うまでもありません。私は近年の子ども達の「心」、精神の教育に問題があるような気がいたしています。昨年の東北大地震や今年のロンドンオリンピックでは、「絆」ということが大きく取り上げられました。私もこの六十年間を振り返ってみると、多くの人々の温かい縁の中で生かされてきたなとつくづく感じさせられます。私達は毎日の生活の中で、いく重もの人間関係を通じて学び成長しています。人は一人でありながら、親に対しては子、子に対しては親、兄に対しては弟、弟に対しては兄、妻に対しては夫、国に対しては国民に対しては弟子、友と友という

ように具体的な対人関係をいく重にも兼ね有しています。すなわちそれぞれの関係から生じる強い「絆」こそが私達を人として成長させてくれるのではないのでしょうか。

それぞれの関係「絆」の中でも最も重要（基）となるものは、親と子、祖父母と孫という家族の絆だと思います。人として生まれた子ども達はまず最初に生涯の師である両親との強い絆と深い信頼関係の中で、勇氣や慈愛に満ちた人としての基となる純粋な心を芽生えさせ育て始めるのではないかと考えます。同様に私達教育現場にも、生徒を教え育てるという強い使命感が求められます。

私も残り少ない教員生活ですが生徒や孫との絆を大切に彼らの成長はもとより、まだまだ自身も何かを学びとれるように校務に励みます。最後に同窓生の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



恩師だより

今枝 悦子

卒業生の皆様、お元気でしょうか。平成四年に初めて担任を持ち、三年間学年を持ち上がつて平成七年三月に送り出した卒業生の皆さんをはじめとして、約二十年の間にかかわったたくさん卒業生の皆さんの顔が思い出されます。文化祭の模擬店やクラス企画を成功させるために夏休みから計画をたてたこと、体育祭の応援合戦の練習に工夫を凝らしたこと、入試の小論文の練習に一緒に取り

組んだことなどが昨日のようです。また、在学中の皆さんと、当時は新任教員だった私を、皆さんの保護者の方々が温かく見守って応援してくださっていたのを懐しく思い出します。保護者の方々もお元気でいっしょにしましょうか。平成七年は「世相を表す漢字一字」を漢字検定協会が募集した最初の年です。阪神淡路大震災、サリン事件などがあり、「震」が選ばれた年でした。それから今まで、

「戦」「災」「偽」などの字に表されるような年月を経る中で、卒業生の皆様にもきつと数々の試練があったことと思います。困難を乗り越えて各方面で活躍されている卒業生の方々から、お仕事や家族の近況、新たに挑戦しようとしている事等のお話を聞く時は本当に嬉しく、まさに昨年の漢字の「絆」を実感するひとときです。時にはぜひ学校へお越し下さい。

先輩の先生方の中には、卒業生のお子さんを受け持っている方もみえます。やがてそのような日が来る事を楽しみに、今後も入学して来る生徒達に寄り添って、しっかり育てていきたいと思っています。皆様のご活躍を、心よりお祈りいたします。

生徒会だより

今年度の生徒会活動の始まりは春に行った「東日本大震災街頭募金活動」でした。未だ復興の進まない被災地で支援を待っている人がいる、そんな想いから年後の3月に再度募金をすることを決めました。昨年同様各部活に声をかけると、たくさんさんの部から賛同と協力の返事を頂き、街頭に立つことができました。（新聞記事参照）たった一日の募金活動でしたが、19万9629円もの募金が集まり、早速、日本赤十字社に寄付をしました。

享栄祭（文化祭・体育祭）の流れはクラスTシャツを作るところから始まります。クラスTシャツは球技大会や体育祭ではユニフォームになり、文化祭ではクラスのシンボルとして着用します。各クラスとも一定の制限の中、趣向を凝らしたデザインを作り上げます。今年の球技大会は、バレーボール、ドッジボール、キックターゲット、ストラックアウトの競技で行われ、盛大に終わることができました。夏休みは享栄祭に向けて話し合いと準備をしました。今年の享栄祭の統一テーマは、「人」～支え合い～となりました。基本方針にある「主体的参加の追求」と「震災のことを風化させない」の二本柱を具体化するためのテーマです。例年と違うのは、参加の形が問われているという点です。生徒達に動きが出る仕掛けを考えながらクラス企画を決めているため、例年以上に活発な文化祭になりました。毎年9月の最終木曜日の二日間、二日間とも入場できまうので、久しぶりに母校を訪ねてみてはいかがでしょう。

震災募金に協力

地下鉄桜山駅から地上へ上がると、何かを呼びかける声が聞こえました。それは近くの高校の生徒たちによる東日本大震災被災地への募金活動。清く澄んだ声で、心が洗われるようでした。



を思い、私も募金に協力。震災を忘れず伝えていく大切さを教わったような気がしました。生徒たちの姿に日本の将来は明るいと感じたひとときでした。（名古屋緑・パート・女・50）

中日新聞掲載記事

2人の卒業生が教師を目指して
今年6月、三週間にわたり本校に教育実習に来られました。



教育実習を終えて

尾碕 雅実

愛知学院大学 大学院
(平成17年卒)

今年六月、教育実習生として母校に戻る機会を得ました。卒業して七年という月日が経っていました。母校の門をくぐると、懐かしい高校生活の場面が一度に湧き出してきました。

在学中、先生方は理解できるまで勉強を教えて下さり、また悩み事にも親身に相談に乗って下さいました。クラスメイトも、目指した目標に向かって一緒に頑張る大切な仲間でした。

高校生活は今も大切な思い出、そして支えとなっています。それを力として大学進学し、更に大学院にて研究する機会を得ました。今回、生徒ではなく実習生として教壇に立つたことは不思議な気持ちでした。更に教室で自己紹介をする。と実習生として戻ってきたのだと改めて思い、身が引き締まりました。

いざ教壇に立つと生徒達の視線が集中し、それだけでもう緊張してしまいました。そのため、説明を

していく時に言葉につかえてしまったり、丁寧に説明をしようとしてまわりくどい説明でかえって分かりにくい授業になってしまいました。

このようなことではとても駄目だと思い、加藤先生と大矢先生に相談し御指導をいただいたこと、授業回数を重ねるうちに緊張が和らいでいき、口頭だけでなく補助教材を使用した説明もスムーズにできるようになりました。また質問をする生徒一人に集中

してしまい教室全体の把握ができなかったり、生徒に対してどのような態度をとればいいのか途惑いました。これらは今後の課題だと思います。

今回の実習は加藤先生、大矢先生をはじめ享栄高等学校の諸先生方のご指導のおかげがないものとなりました。先生方と後輩のみなさんに心から感謝しています。有難うございました。



教育実習

木下 啓

愛知東邦大学
(平成21年卒)

五月二十八日から教育実習生として母校の享栄高校で教育実習をさせていただきました。今の私があるのは享栄高等学校で過ごした三年間があるからです。お世話になった先生方のようになりたいたい、享栄高等学校で教育実習をさせていただきました。教育実習中は、在学時にバスケットボール部の顧問の豊永先生が指導教諭を引き受けてくださいました。まず豊永先生のクラスの一年十五

組の副担任をさせていただけることになり、体育科の授業を中心に朝と昼と帰りのショートタイムやホームルーム、そして総合の時間などを見学させていただきました。当たり前ですが、生徒だったときには気づかなかった先生の意図がわかったり綿密な計画上で成り立っている授業を勉強させていただきました。そして、後半からは、授業やショートタイムを担当させていただきました。

した。これが私にとって最大の難関でした。大学では模擬授業もありましたが時間が教壇に立つた時とはとても緊張しました。教えるという事は回数を重ねることに慣れましたが、生徒との接し方に関しては毎回悩みました。どこまで厳しくするべきなのか、そして、生徒一人一人に接することももちろん忘れてはいけないという事もあり、とても悩みました。まだ経験がない

のでその加減にとってはこれからの自分の課題ですが、今回の実習を通してこの事に気付けた事だけでも、自分にとって大きな一歩だと思っています。実習を終えて、豊永先生や体育科の先生を始め享栄高等学校の先生方の素晴らしい御指導のおかげで私の教育実習はかけがえない物になりました。二年十五組という素晴らしいクラスの生徒に出会えてよかったです。ありがとうございました。

練習生募集

君もチャンスをつかもう!!

畑中ボクシングジム

会長 畑 中 清 詞 (S 60 年卒業)

(第13代WBC世界S.バンタム級チャンピオン)

名古屋市北区上飯田西町 2-30-2 TEL (052) 911-2169



挑戦

享栄高等学校の近況報告

1. 管理職及び同窓会担当者

学 園 長	長谷川 信孝	校 長	南保 眞一	教 頭	伊藤 誠浩	教 頭	坂野 勝彦
事 務 長	佐藤 友昭	総 務 主 任	大島 律	同 窓 会 係	上野 文也	同窓会事務局長	柴垣 旭延

2. 教職員数

教 職 員	非 常 勤	合 計
92	33	125

3. 在籍生徒数

	1 学 年	2 学 年	3 学 年	全 体
男 子	419	378	259	1056
女 子	195	172	165	532
計	614	550	424	1588

4. 基本理念

『教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる。』を基にして、生徒ひとりひとりを大切にし、自己実現が図ることができる教育

5. 目指す学校像

「面倒見の良い学校」	1. きめ細かく丁寧な教育をする学校 2. 夢と感動のある学校 3. 安心できる学校 4. 地域に評価される学校
------------	---

6. 平成23年度卒業生の進路結果(464名卒業)

	卒 業 大 学	短 大	専 門	就 職 等	主な大学名：愛知県立大学・静岡大学・立命館大学・南山大学・愛知大学・中京大学・名城大学・愛知淑徳大学・愛知学院大学・金城学院大学・愛知工業大学・名古屋学院大学・大同大学・中部大学・日本福祉大学・愛知東邦大学・鈴鹿国際大学・名古屋情報メディア専門学校 他 主な就職先：愛三工業(株)・愛知機械工業(株)・愛知県中古車自動車販売商工組合・(株)アオキスーパー・(株)神谷商会・刈谷紙器(株)・カネハツ食品(株)・(株)コベルク・敷島パン(株)・住軽アルパック(株)・東海ゴム工業(株)・山崎製パン(株)・海上自衛隊 他
普通科	145	95	7	34	
商業科	187	23	4	74	
機械科	132	5	1	30	
合 計	464	123	12	138	

7. 平成23年度部活動・個人の活躍

ボクシング部	全国高等学校総合体育大会	ライトウェルター級 ベスト8 但馬ミツロ
	国民体育大会	ライトウェルター級 1回戦 但馬ミツロ／ミドル級 1回戦 池内健太
	全日本高等学校ボクシング選抜大会	ライトウェルター級 ベスト8 但馬ミツロ／バンタム級 ベスト8 窪井将志
ソフトテニス部	全国高等学校総合体育大会	3回戦 富上将利・北村雅也
チアリーディング部	西日本チアリーディング選手権大会	エキシビジョン部門 奨励賞
スピードスケート	全国高等学校総合体育大会 冬季大会	出場：柏木敦司
	国民体育大会 冬季大会	出場：柏木敦司
パワーリフティング	全日本選抜高等学校 パワーリフティング選手権大会	出場： 瀧 寛
K1(格闘技)	K1甲子園	優勝 小川 翔

8. 平成24年度の主な学校行事

月	行 事	
4	7日 入学式 9日 始業式 12～16日、23～27日 個人面談指導 14日 学級懇談会 18～20日 1年生野外合宿	
5	15～18日 中間試験 19日 土曜セミナー・PTA総会・街美ボランティア 31日 映画鑑賞会	
6	1日 創立記念日 4～14日 研究授業月間 16日 同窓会総会・土曜セミナー 24～7月9日 特進語学研修・修学旅行	
7	2日 求人受付開始 2～6日 期末試験 20日 終業式 21～24日 保護者会	
8	4日 第1回体験入学会 21日 全校出校日 22日 第2回体験入学会	
9	1日 始業式 3～14日 個人面談指導 16日 就職試験開始 27～28日 文化祭	
10	3日 体育祭 16～19日 中間試験 27日 第1回学校説明会 29日～11月3日 修学旅行	
11	10日 第2回学校説明会 16日 演劇鑑賞会 23日 第3回学校説明会 30～12月6日 期末試験	
12	1日 第4回学校説明会 18～20日 保護者会 21日 終業式	
1	7日 始業式 16～22日 卒業試験 30日 推薦入試	
2	5日 一般入試 12日 予餞会 21日 卒業式 27～3月5日 学年末試験	
3	19日 終業式 23日 新入生登校日	

部活動だより

硬式野球部

【部 長】細川 将功



【総監督】柴垣 旭延



【監 督】彦坂 明人



【コーチ】上野 文也



野地 雄次



OBの皆様には、平素よりご支援を賜り有難うございます。

スタッフは昨年同様、総監督・柴垣旭延・部長・細川将功(商業)・監督・彦坂明人(体育)・コーチ・上野文也(社会)・野地雄次(体育)の5名であり、部員は3年生・18名・2年生31名、1年生24名の合計73名です。

さて、夏期大会におかれましては大変暑い中多くのOBの方々に応援頂きまして有難う御座いました。残念ながら5回戦で敗れ悔しい思いをしました。この悔しさを来春の選抜に向け日々練習を重ねています。また、来年度は創立100周年と節目の年でもあり、平成12年以来的の甲子園を目指し泥臭く戦っていきます。

9月中旬からは県大会が始まります。一戦一戦を大切にして、部員一丸となり努力していく所存でございます。



第64回愛知県高等学校野球選手権大会

平成23年9月10日(熱田球場)

刈 享	0 0 2 1 0 0 0 0 3
谷 栄	1 0 0 0 1 0 0 1 0
小 牧	3 6

刈 享	0 0 2 1 0 0 0 0 3
谷 栄	1 0 0 0 1 0 0 1 0
小 牧	3 6

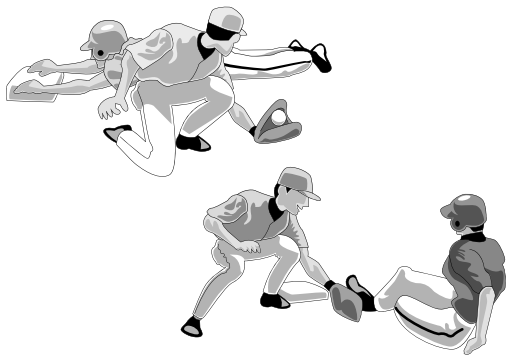
第62回愛知県高等学校優勝野球大会

平成24年4月15日(小牧球場)

刈 享	0 0 0 0 0 0 2 0 0
谷 栄	0 0 0 2 0 1 0 3 ×
岡崎城西	6 2

刈 享	0 0 2 0 0 2 0 1 0
谷 栄	0 1 0 0 2 0 0 0 0
刈 享	3 5

刈 享	0 0 2 0 0 2 0 1 0
谷 栄	0 1 0 0 2 0 0 0 0
刈 享	3 5



平成24年4月28日(熱田球場)

刈 享	0 0 0 0 4 0 2 0 0
谷 栄	0 1 2 2 1 0 0 1 0 0
豊田西	7 6

刈 享	0 0 1 0 0 0 2 0 0 0
谷 栄	0 0 0 0 0 0 2 0 0 0
同 朋	2 3

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

刈 享	0 0 1 0 0 0 0 0 0 3
谷 栄	0 1 0 0 0 0 0 0 0 2
刈 享	3 4

軟式野球部

【部 長】松山 直樹



【監督】尾俣 治義



【コーチ】蔭地野由晃



谷出 基貴



軟式野球部は現在16人の部員数で活動しております。専用のグラウンドが無い為に毎日マイクロバスで移動し色々なグラウンドで練習しております。夏場こそ長く練習時間を持てますが、その他の時期はグラウンドまでの移動に時間を要し短時間しか練習できないのが実状です。よって春休みには遠征をして他校との練習試合を組む事によって練習場所の確保と技術の向上を目指しております。ジグザグの様にグラウンドを転々として本当に大変な思いをしております。指導者として最高の練習内容をしていこうと思っておりますが、何時でも練習できる他校とはハンデが大きく試合結果につながっていないのが現実です。今年の全国大会につながる県予選では準決勝敗退、私学祭も準決勝敗退。新人戦では敗者復活戦で敗退、県大会に出場することができませんでした。しかし試合の勝敗だけが指導ではなく「挨拶と礼儀」を重んじた「心の人間形成」の指導もあり、後者では他校には負けないチーム作りをしていると自負しております。でも最終の目標は全国大会に出場する事であり、その目標に向かって頑張っていきます。どうか同窓会の皆様もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

宝 石 の 山 海 堂

宝石の事なら ご一報下さい

株式会社 山 海 堂

名古屋市中区大須 2-27-15
電話 052-232-2288

ボクシング部

【顧問】中島 邦晴

岡本 泰典



インターハイ2名出場

享栄高校として五年連続のインターハイ出場となりました。今年も県大会で有力選手が自分の実力を出せなかったことや、判定が割れて破れてしまったことも関係して昨年全国大会を経験した3年生の但馬ミツロと池内健太の2名の出場となりました。他にも全国で十分活躍できる実力を持った選手や昨年度の全国選抜でベスト8になった選手もいましたが惜しくも破れインターハイ出場を逃してしまいました。第六七回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技は新潟で行われました。但馬の初戦の相手は長崎県の選手でした。上下のパンチを正確に当てポイントで奮い大差で初戦を突破しました。2回戦は今年の一月の選抜大会で敗れた選抜チャンピオンとの対決となりました。一進一退の攻防が続きました。審判が手を挙げるまでどちらが勝つかわからない試合でしたが審判は但馬の手を挙げませんでした。互いの実力の差はわずかでしたが審判が選んだのは相手でした。ウェルター級の池内はシードで2回戦からの出場となりました。相手は昨年のベスト4の選手で強豪でした。前半相手にベースをつかまれやりづらそうな展開でしたが、果敢に攻めポイントを取りに行きました。しかし流れを奮い返しきれずにポイント負けとなつてしまいました。負けてはしま

いましたが本人の気迫が周りに伝わるいい試合でした。ともに選手自身が望んでいた結果を得ることはできませんでしたが、今大会でさまざまな経験をつみさらに心身ともに成長したので今後二層の活躍が期待できると思います。現在一二年生は先輩に続けと全国大会を目指して練習に励んでいます。それぞれ秋の新人戦に照準を合わせて怪我することなく悔いのない練習をして大会に臨んで欲しいと思います。今後とも御声援よろしくお願いします。

ソフトテニス部

(男子・女子)

【顧問】中川 孝浩

杉浦 俊也

鈴木 直也

照井 敏彦



男子ソフトテニス部は、現在1年生6人、2年生11人、3年生6人、総勢23人で活動しています。3年生が引退し、新チームとしてまだまだ未熟な部分もありますが、全員で協力しながら全国大会にむけ毎日の練習に取り組んでいます。今年度は惜しくも個人戦での全国大会を逃しましたが、東海総体に出場しました。この結果を受けて、次の大会である新人戦に向けて、より一層努力しています。また、団体戦でも東海総体には出場しました。全国にむけ、頑張りしたいと思います。部員たちの技術

面と精神面の成長を期待し、日々努力することの大切さや仲間との存在の大切さ、感謝の心を忘れずに練習に取り組んでいきます。



女子ソフトテニス部は現在1年生3人、2年生2人、3年生2人の合計7人で活動しています。人数は少ないですが、毎日男子部員とともに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。今年度は個人戦で県大会出場を果たしました。また、3年生も合わせて念願だった団体戦にも出場し決勝リーグに進出しました。部員それぞれが県大会出場を機に、以前よりも意識を高く持ち、練習に真摯に取り組むようになりました。日々の練習の中で技術面や精神面で多くのことを学びながら、部員達は着実に成長

陸上部

【顧問】尼子 理志

八木理恵子



この夏私は、高校生活最後の合宿へ行きました。その合宿を通して学んだことがあります。まず一つは、仲間の大切さです。普段の練習でもそうですが、合宿では合計約100kmも走るの自分一人では完走できません。辛いときの仲間の応援や、支えがあったからこそ完走できたのだと思います。OBの先輩や後輩にはとても感謝しています。

二つ目は、感謝する心です。先輩、後輩にも感謝していますが、一番感謝しているのは親と合宿に連れ行ってくれた先生方です。親にはまず、当たり前のことですがここまで育ててくれたことに感謝しています。また、高い合宿費を払ってくれたことに感謝しています。この二つがなければ合宿には行けなかったし、陸上部にも入部していなかったと思います。先生方には合宿に連れて行ってくれたことに感謝したいです。合宿がなければ、このような経験や感謝の気持ちはなかったでしょう。そして、こんな自分を今までも色々な面で指導してくださり、本当にありがとうございます。

卓球部

【顧問】水野 敏伸

宮本 章令

鹿内 次郎



卓球部は、現在男子8名、女子2名で活動しています。毎日の練習は基本をしつかりと身につけるというのを第一の目標にして行なっています。授業終了後、フォアやバック、サーブを集中的に練習します。そして二球目三球目と徐々に実戦に近い練習に移り、その後、個人戦を行うことで練習内容の確認を行います。練習を通しての目標は、「試合で一回でも多く勝つこと」です。経験者もいますが、初心者に対してもラケットの正しい持ち方から経験者が教えるという姿も見られます。夏休み中に行なわれた新人戦では、女子がシングルスでブロック準優勝という結果もできました。一回でも多く勝つということを目標に毎日の練習に励んでいます。

合宿で学んだことや、今までの経験をこれから的人生に活かして、立派な大人になりたいと思います。卒業した数年後に元気な姿で顔を出しに行けることが、自分なりの恩返しになると思っていますので、まずは就職を第一に頑張りたいと思います。

3年10組 梅村 昇意



バレーボール部 (男子・女子)

【顧問】小澤 大輔



酒向 俊幸



北村 篤嗣



バレーボール部は、男子3年生4名、1年生8名で活動しています。

女子は1年生5名で活動しています。男子はこれまでに、人数が少なくビーチバレーの大会に主に参加していました。また、他校との合同チームでの公式戦出場はできていたのですが、今年度からは、享栄高校として公式戦に参加することができました。高校からバレーボールに興味を持つ始めた初心者もいれば、経験者の生徒もいます。しかし、部員全員「県大会出場」を目標に日々練習に励んでいます。

女子は全員が1年生と、今年度結成された新チームです。人数がそろっていないため、公式戦にまだ二度も出場することができていません。今年度はビーチバレーの大会に参加をしています。夏休みは、実際に砂浜へ行き、室内のバレーとの感覚の違いを覚えるために週1回木曾三川公園で練習を行ってきました。また、バレーボールの技術向上に加え、精神面での向上も目指しています。部活動を通して社会にでも困ることのないよう、礼儀正しい社会人となつてもらいたいと考えて指導しています。

1年生は3年生に学ばなければならぬことが多くあります。3年生引退までの短期間で技術面はもちろんのこと、精神面では非常に多くのことを特に学ぶ必要が

あります。しかし1年生だけのチームもこれからが楽しみなチームです。同級生でのメリットを活かし、チームワークを重視しこれからの練習に取り組んでいきます。技術面はもちろん、精神面の向上を図り、「県大会出場」という目標に向かって頑張ります。これから応援をよろしくお願い致します。

サッカー部

【顧問】永田 伸輔



堀川 正樹



山本 雅博



享栄高校サッカー部は9月現在、2年生7人、1年生16人の計23人で新チームとして始動をしています。

平日は、主に太白学校体育センターでトレーニング、週末は練習試合をこなし、ほぼ毎日トレーニングに励んでいます。

サッカー部では、4月からインターハイ名南支部予選、同時に4月から10月にかけてリーグ戦、8月下旬の選手権名南支部予選、11月には、工業高校が参加して行われる工業リーグ、そして12月に行われる新人戦が主な公式戦になります。他にも、他県の強豪チームも参加して行われる「フエスティブル」にも積極的に参加をしています。

今年も、3年生としては、活動の集大成となる、冬の選手権の名南支部予選に向けて、夏休みはトレーニングに励んできました。試合に向けて2回合宿を張り、選手は一生懸命努力をしましたが、結果は1回戦で涙をのみました。新チームは、12月に開催される新人戦に向けてのトレーニングを積んでいます。まずは、ドリブルやボールキープなど、1対1の局面を中心に基礎的な内容を繰り返しトレーニングしています。これからの、公式戦に向けて勝利できるよう、選手スタッフ一丸となつて、日々トレーニングに励んでいます。

懸命努力をしましたが、結果は1回戦で涙をのみました。

新チームは、12月に開催される新人戦に向けてのトレーニングを積んでいます。まずは、ドリブルやボールキープなど、1対1の局面を中心に基礎的な内容を繰り返しトレーニングしています。

これからの、公式戦に向けて勝利できるよう、選手スタッフ一丸となつて、日々トレーニングに励んでいます。



バスケットボール部 (男子)

【顧問】豊永 真美



杉本 裕介



大島 律



〈大会報告〉

平成24年度私学祭

享栄 110 愛知啓成

享栄 104 愛知

享栄 57 中部第一

平成24年度夏季名南選手権大会

享栄 83 昭和

享栄 58 向陽

享栄 69 中京

Fブロック1位となり、

Fブロック1位×Eブロック1位

享栄 66 84 名市工

今後の試合日程は、平成24年度全国選抜予選大会が10月7日(日)・8日(月)・13日(土)と予定されています。県大会出場を目指しています。応援をよろしくお願い致します！

バスケットボール部 (女子)

【顧問】矢野 好明



【コーチ】樋 秋晴



大島 律



私達女子バスケットボール部は、部に昇格して11年になります。先輩達が積み上げてきたものを、重く受け止め、大切に守っています。しかし、部員は1年生三人、2年生三人、3年生三人の合計九人と少人数です。男子の力を貸りて練習することも少なくありません。ですが、女子バスケット顧問の矢野先生が、頻繁に練習試合を組んでくれ、実戦でしか経験出来ない事を出来ている事は、私達にとって、とても貴重な事だと感謝しています。

今年も七月下旬、二十四日から三泊四日の合宿に、南知多の豊浜に行きました。

享栄高校の体育館は冷暖房完備です。しかし、合宿所の体育館は、冷房がなく、とても暑い環境に大変困難な合宿になりました。私達はバスケットボールが大好きです。だからこそ、そんな辛い環境の中の練習も耐え抜き、頑張っています。

女子バスケット部を立ち上げ、存続してきて頂いた先輩方に、胸を張れる部にしていくよう、忍耐強く、日々努力し、そして致団結して、女子バスケット部を盛り上げていきたいと思っています。これからも応援をよろしくお願い致します。



柔 道 部

【顧問】宇野 博

川合 政幸

佐々木康治



柔道部には今年度、新1年生の男子が1名加わり、男子5名、女子2名の部員で毎週月曜日から土曜日までの週6日間、1日3時間程度活動しています。

部活動報告といたしましては、4月に行われた高校総体名南支部予選会において、男子団体は残念ながら予選突破をすることはできませんでしたが、女子団体は5月に行われた県大会に出場することができました。

私が柔道部の指導者として掲げる目標は、柔道の厳しい練習を通して、身体鍛錬のみならず、精神の鍛錬を積み、人間教育を行うことです。厳しい練習を乗り越えることで、どんなに苦しいことから逃げない強い精神力・忍耐力を身につけ、社会に出て恥ずかしくない立派な生徒を育て上げたいと思います。

部員同士とても仲が良く、どのような厳しい状況でもお互いに助け合える良好な関係が築かれています。また部員全員が真面目に練習に取り組み、自らすすんで積極的にトレーニングや技の研究を行っており、日々成長を感じることができます。今後の活躍がますます期待できる生徒ばかりです。

3年間部活動が続けること、経験者の証である黒帯を取得することが現状における生徒の大きな目標

ですが、今後も県大会出場、憧れのインターハイ・東海大会出場を大きな目標として一生懸命指導に取り組んでいきたいと思っています。



ハンドボール部

【顧問】松本 亮一

岡安 伸治

鈴木 準平



私たちハンドボール部は、今年度新1年生が十三名加わり、二年生一名と合わせて十四名の部員で毎週月曜から金曜までの五日間、二日三時間程度で活動しています。また、休日には他校との練習試合を積極的にを行い、個々の技術やチームの連携を高め合っています。

ハンドボールという競技は、キーパーを含め七人で、試合は二十五分ハーフで行われます。コートはバスケットコートよりも大きいサイズで行われています。ルールはバスケとボールのドリブルやパスの様にボールを回し、フットサルと同様のゴールに投げ入れる。醍醐味は何といってもシュートシーンとスピード感溢れる試合展開です。激しく体をぶつけ合い、ディフェンスをかき分け、ゴールを狙う。エキサイティングなプレーは一度見たら必ず虜になるはずです。今年から大会に出場できる人数になりましたが、大半が一年生のメンバーです。ほとんどが高校に入学してからハンドボールを始めた生徒ばかりですので、今年はあまり良い成績は残せていません。しかし、各自が高い意識を持って日々の練習に励んでいるので、これから期待したいと考えています。さらに、限られた時間、練習環境で各自が質の高い練習をすることが大切です。まだまだこれからのチームです。共に汗を流し、互いがライバルとして日々の練習に励み、まずは公式戦一回戦突破を目標に頑張っていきたいと思っています。

剣道同好会

【顧問】直江 崇

木下 優



私たち剣道同好会は男子が2名、女子が2名の計4名で活動しています。練習は平日の放課後と土曜日の午前中で行っています。春の大会後、3年生が引退し部員は一層少なくなりましたが、2年生全員が一致団結し、3年生の抜けた穴を必死で埋めようと頑張っています。

名古屋市剣道選手権大会では、女子生徒二名が個人戦で4回戦まで勝ち進むことができ、男女共に普段の練習の成果を十分に出すことができました。生徒達にとっても大きな自信になったと思います。

夏休み中のジュニア強化練習会では、他校の生徒と練習試合を行い、普段の練習ではできない貴重な経験をすることができました。

夏休み最後の大会では、男女共に団体戦で一回戦を突破しました。今まで以上に部員一人一人が剣道に対して真剣に取り組み始めた結果だと思っています。

剣道同好会には高校から剣道を始めた部員がいます。技術面はもろろのこと、気持ちの面でも経験者に負けない意識や目標を持って練習に取り組んでいます。

またこの夏休みの厳しい練習で、部員全員が気持ちを一つにして、次の大会に向けて努力しています。今後も日々の練習を疎かにせず、各大会でベストが尽くせるように頑張っていきたいと思っています。

チアリーディング部

【顧問】元住 沙織

松尾 崇広

水谷 恵



JAPANCUPを終えて今年度は新1年生を3名迎え、JAPANCUP出場を目指しスタート

を切りました。16人までが大会で出場できる最大人数なのですが、享栄高校のチア部が16人になったことは今まで一度もありません。しかし、享栄高校チア部のモットーは『少ない人数をハンディーだと思わないこと』なので、部員達にその辺の気負いはありませんでした。何より、8人以下だと競技部門に出場できないので、入ってきてくれた後輩に感謝をしながら、集まったこの仲間感謝しなさいと言いつづけてきました。

JAPANCUP出場が決まる予選の演技は、自分達が思うベストな演技ができませんでした。しかし、何とかJAPANCUPフライデートーナメントに出場が決まり、選手共々みなで泣きました。

JAPANCUPまでの2ヶ月で、予選でやった演技よりもレベルを上げました。毎日毎日ひたすら練習をしました。失敗が多い技も、なぜできないのか生徒に必死に考えさせ、自分達で解決できるように指導にあたりました。あとは自信を付けさせるだけ、とにかく演技をしていて自らが楽しみたいという意味がないんだということをひたすら言い続けました。

大会当日、朝6時半から近くの公園で練習し、大会のリハーサルに臨みました。選手達の緊張感私の想像をはるかに超えていました。本番もそれは変わることなく、散々な結果に終わりました。

今回初の全国大会という舞台で、選手も指導者もたくさんの課題ができました。いい勉強になったと切り替えるのは少し時間がかかりましたが、1つ1つ課題をクリアし、来年は生徒達のベストが出せる演技ができるように、これからもがんばっていききたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いします。

吹奏楽部

【顧問】山林 唯

倉野 靖男



第二〇回定期演奏会の成功を目標に

今年度の吹奏楽部は、総勢三二名の部員で活動を始め、夏のコンクールや合宿を行いました。現在（二学期初め）は少し部員が減つてしまひ、二九名で活動していますが、昨年より多い人数で活動できています。部員の構成は、三年生七名、二年生十二名、一年生十名です。相変わらず、部員の大半は初心者ですが、皆で合奏する楽しさを追求しながら、コンコツと活動しています。去る二月八日（土）は、皆様のあたたかい協力のもと、第九回定期演奏会―創部五〇周年記念―を無事に終えることができました。五〇年という長い歴史の節目の演奏会でしたが、多くの吹奏楽部卒業生が結集し、六十名規模の合同演奏が実現しました。創部当時の吹奏楽部員でいらした細江利夫同窓会会長にも、こあいさつを頂き、演奏会に華を添えて頂きました。昨年この書面で触れましたが、前顧問の菅沼章先生の尽力で始まった定期演奏会の開催は、本校のような小さな吹奏楽部では先駆けとなる取り組みでしたが、次回の演奏会で第二〇回を数えます。創部五〇年の歴史と共に、重みを感じ、身の引き締まる思いです。今年度は、更に素晴らしい定期演奏会を目指して努力したいと思っております。第二〇回定期演奏会は、平成二五年二月十日（祝月）アートピアホールで開催致します。今年度（学期は、四月に昭和ライオンクラブ主催の青少年チャリティー音楽祭に友情出演させていただきます東北にエールを



送りました。PTA総会や同窓会などで演奏させて頂き、夏には合宿を行い、愛知県吹奏楽コンクールと中部日本吹奏楽コンクールに出演しました。二学期は、享栄祭を皮切りに、合同演奏会や、様々な地域の行事や演奏会に出演を予定しています。三学期は、吹奏楽フェスティバル合同バンドの演奏を経て、先述の第二〇回定期演奏会を予定しています。今後とも、皆様のあたたかい支援をよろしくお願い申し上げます。

ワープロ部

【顧問】加藤 一夫

稲熊 誠

平林 哲弥



ワープロ部は、現在、年生六名、一年生三名、三年生二名の十一名の部員で活動をしています。情報処理関連の諸検定試験の資格取得と県内私学の主催される実務競技大会出場を目指して活動をしています。現在、どの分野においてコンピュータは必要不可欠な道具になってきています。コンピュータを使いこなせるように毎日練習を重ねています。特に検定試験（月前になったら毎日遅くまで全員で協力しあつて頑張っています。現在、県主催の実務競技大会を目指して頑張っています。

写真部

【顧問】伊藤 哲夫



今年度は、年生が二名入部し、全員で九名になりました。部員数は少数ですが、定例部活として週二回、それ以外には各自が自由撮影を行うなど活発に活動しています。今年度の活動の特徴は、昨年に引き続き「夏の合宿」を実施し、「愛知県私学美術展（私学展）」に

出品を目指していることです。合宿は山梨県の富士山麓忍野付近で、丸二日間撮影しました。部活動は、例年と同様で、①写真部としての撮影会、②土曜セミナー撮影③街美ボランティア撮影④部員各自が個性豊かな作品を撮影、という四部門に於いて本校の文化祭で作品展を実施します。さらに私学展に出品した作品を、学校内で展示をしたいと考えています。また、日々の活動については、各自が撮影した作品を、学校のパソコン室において画像編集やプリントしたり、作品の批評会を行ったりしています。なお、今年度は写真甲子園開催地は北海道（予選に作品を出品しましたが、敗退しました。来年以降も本戦に出場できるように頑張っていくつもりです。

理科部

【顧問】佐川 貴之

藤原 基行

近藤 義高



理科部は現在五名ほどの部員で活動しています。理科の実験や製作が好きで生徒を中心に、少人数ながらもアットホームな雰囲気の中で活動しています。二学期は、風力で動く動物の模型や自動掃除機の制作、電子ブロック、ミウバンを使った結晶の作成などを行いました。二学期以降は、石鹸についてアートを絞り、研究・作成をしていく予定です。理科部員といつても、必ずしも理科が得意であるわけではありません。しかし、自分たちで考えることができ、理科に関する実験や観察、製作が大好きな生徒たちです。部活動を行う上で必要な知識などは、顧問が授業を行うなどの形で補い、地道に活動を続けています。いずれは長期間のスパンでテーマを持ち、実験や観察の結果を蓄積して、コンクールなどにも参加できるように頑張っていきたいと思っています。

茶華道部

【顧問】栗田美穂子

阿部真寿美

香田 孝



茶華道部は、新入部員16名を迎え総勢24名で活動しています。今年度は、年生の部員が多いなかで男子が4名入部し男子部員も7名と増えました。今までにない部員数のため週二回の活動を二回にして、2班に分かれて練習し、部員同頑張りしています。平成21年12月より「表千家学校茶道登録校」となり免状取得ができるようになりました。これも励みのひとつになっています。また文化祭と土曜セミナーなどにも参加し、日頃の成果を披露しています。華道については、毎年行われる村雲流いけ花展に参加しています。昨年度は、自由花（秋の香）の作品を出展しました。茶道華道をとおして、豊かな感性と広い視野を養っていければと思っています。卒業生の皆様ぜひお立ち寄りください。



漫画研究部

【顧問】山本 和夫



今年も漫画研究部の活動のメインである第21回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）に応募しました。入部間もない二年生の作品と、一年生の作品が最終まで残り、部としては年生の作品を応募することになりましたが、今年も出場はかきません。審査を担当された先生から、「とてもいい絵を送っていた。キャラクターデザインが大変よかった。アイデアは、おもしろいものだった」との良い評価をいただいた。逆に課題として「わかりやすい、伝わりやすい作品を」とのコメントもいただきました。

美術部

【顧問】今枝 悦子

榊原 亜紀

市村 佳子



美術部は、退職された板倉先生の時代から、毎年部員数の増減はありましたが、現在、十三名で和氣満々と活動を継続しています。今年入部した新入生は七人です。二年生は普通科二名に加え、商業科のアニメコース「デザインコース」の生徒四名が二年次より入部しました。本校には美術室がないため中学校で美術部に所属していたメンバーには物足りないことばかりですが、普通教室でできること、という制約の中で創意工夫をしています。学期にはそれぞれがテーマを持って作品に取り組みました。自作の絵画を砂絵で表現する生徒、緻密なデザイン画に取り組み生徒、木工に挑戦する生徒、色鉛筆でのイラスト画に取り組み生徒、「CGイラストコンテスト」にむけて根気よく取り組む生徒もいます。ノートパソコンとペンタブレットという機器を持ち込んで作画する生徒にも驚きました。今後は、バステルアートや木彫などにも挑戦していく予定です。美術部の卒業生は、三数年、名古屋造形大学、名古屋芸術大学、トライアント専門学校など、芸術系の大学や専門学校に進学し活躍しています。各校が開催するデッサン講習会や体験授業に、二年次から積極的に参加をすすめてきたこともその理由の一つです。居場所がない、進路が見えないという悩みを抱えていた生徒も、将来の目標がはっきりする作品づくりでなく、学習に向かう気持ちも前向きになっていくようです。今後も、こうした生徒達に寄り添いながら、応援をしていく部でありたいと思っています。

ボウリング同好会

【顧問】信田 一浩



享栄高校ボウリング同好会の現在の部員数は、3年生6名、2年生3名、1年生1名の計10名、顧問は信田が担当し、活動しています。主なクラブ活動はボウリング競技という性格上、学校では行なえないため、千種区にある「スポーツ名古屋」に協力していただき、週2回、約1時間の練習を行なっています。基本的に個人競技ということもありますが、3年生から1年生まで少しでも自分自身のアベレージスコアを上げられるように取り組んでいます。出場する主な大会は全日本ボウリング連盟が主催するもので、例年7月に行われる「全国高等学校選手権大会」と同12月の「全国高等学校対抗選手権大会」の2つの大会です。これらの大会に出場するためには、共に愛知県予選を突破する必要があります。その中でも今年度は7月31日に東京品川で行なわれた全日本高等学校選手権大会に3年生の山田伸明君が幸運にも出場することが出来ました。しかし、本選では残念ながら良い成績を残すことができず決勝進出は叶いませんでした。競技の内容は1日に9ゲーム行い、その合計点数を競うもので、球の重さは男子の場合およそ15ポンド(約6.8kg)あり、その球を単純計算で170球近く連続して投げ続ける非常に過酷なものです。選手の中には球の動きに変化をつけるため指先や腕・肩を捻り、その結果、身体を痛めてしまう者も少なくありません。娯楽のボウリングとは異なり1ゲームでも気を抜いてしまうと順位が落ちてしまえばかなり腕や指先に大変な負担がかかりますが、現在は11月の大会予選に向けて努力しているところです。ボウリングは校内で行うことが出来ないため、練習時間の確保やボウリング場までの移動等を考えますと、いろいろと大変な面もあります。しかし、まずは全国大会への出場、そして少しでも好成績をあげることが目標に、これからも精一杯努力していきたいと思ひます。

図書同好会

【顧問】田中 邦彦



横地 秀昭



村田 好陽



部員は相変わらず少ないですが、活動内容は例年になく活発です。活動日は毎週木金の2日です。読書を中心に3年生が引張っています。部員は3年生が1名、2年生は新入部員を入れて2名、1年生が2名で、年度初めは寂しい感じでしたが、今年の夏休みは1学期末から始めた、短編小説の作成応募へ向け頑張ったのが、近年ない良い活動となったようです。地道に読書など活動することはいつか人生にいかれると思います。将来の夢をかなえるためにもとみんな頑張っていますので今後ともよろしく願ひいたします。

ダンス同好会

【顧問】中道 剛



ダンス同好会は、発足してから九年目を迎えました。在籍数も3年生6名、2年生5名、2年生15名と合計で二十六名で日々、精力的に活動しています。在籍している生徒は学校行事等での発表、外部のイベント等での発表に向けて全力で取り組んでいます。まだ発足して九年目と述べましたが、その間様々な卒業生を輩出し、多方面で活躍しています。大学、専門学校へ進んでダンスをしている人もいれば、就職してダンサーとしてがんばっている人もいます。また、一般の企業に就職している卒業生でも、趣味でダンスを続けている人もいて、ダンスを通じて実社会で活動している先輩が多いことも後輩達の励みになります。また、学校へ来校し、後輩の指導している姿をみて良かったと思うこと

もしばしばあります。ダンス同好会は歴史は浅いですが、享栄高校の歴史に新たなものが刻むことができるようにがんばっていききたいです。これからもよろしく願ひいたします。

簿記同好会

【顧問】尾前 敏雄



久々に同窓会の皆様にお便りをお届け致します。この数年、部員数は激減してしまい活動さへなくなってしまう時がありました。先輩の話から地味な部活動は、今の生徒にはあわないのかも知れませんが、以前は、百人も超す大所帯の簿記部と聞いた事があります。幾つかの教室を使っていた先輩たちが後輩を指導なさっておられたの事...今では信じられない事です。当時から羨ましく限りです。現在、正直三人の部員で賄っており、練習は週三回です。(これでは上級試験にもほど遠い感があります)先輩たちの話の中からせめてつても本校の簿記部が再生出来るよう頑張っています。先輩のみなさん、当時の部活動の思い出や経験をまた後輩たちにぜひ聞かせてください。皆様のご健康を祈願致します。

合唱同好会

【顧問】長田 裕子



倉野 靖男



合唱同好会は現在、十数名の部員で活動しています。歌の大好きな生徒が集まり、発声練習など基本から取り組み、様々な曲をみんなで楽しく歌っています。今後は文化祭予備会での校内発表だけでなく、地域社会など活躍の場を広げていければと思っています。練習環境、部員数など厳しい面もありますが、歌う楽しさを忘れず、来年度のNHK学校音楽コンクール出場を目標に全員で頑張っていきたいと思ひます。

アーチエリー同好会

【顧問】戸谷 道明



楠 知子



アーチエリー同好会は、現在3年生3名、2年生6名、1年生11名の計20名で週5日、瑞穂アーチエリー場を中心に活動しています。最近では部員のレベルも上がり、長距離の練習の為、日本ガイシスポーツプラザアーチエリー場でも練習を行っています。今の3年生から始まったアーチエリー同好会も3年目になりました。3年生の3名は中学時代に部活動を経験しておらず、部活と言うものを全く知らない状態でのスタートでした。そんな中でも他の部活動を見ながら、良いと思ったことを取り入れ、部員達でルールや練習内容も考えながら、作り上げてきました。先輩となり後輩への指導やコミュニケーションをとることも悩むことが多く、苦しい時期もありましたが、やるることなく、続けてこれて良かったと思ひます。春には男女合わせて4名の選手が県大会に出場することができました。少しずつではありますが、県でも戦えるチームになつてきたと感じています。目標としては東海大会に団体で出場することです。目標に向かって日々練習を重ねて行きたいと思ひます。

情報処理同好会

【顧問】大矢 貴子



近藤真紀子



情報処理同好会は1年生が2名、2年生が3名、3年生が5名の合計10名が活動しています。情報処理検定のうち、表計算(エクセル)検定の合格を目指して勉強しています。また、表計算以外にも、

情報技術同好会

【顧問】片山 一成



安田 忠義



寺輪 勝行



前年度は、人数も少なく、あまり活動をしていませんでしたが、今年度は1年生が2名、2年生が3名の合計5名と生徒もふえました。今年度取り組んだことは、4月からスタートして、7月に行った「危険物内種の学習」、そして、危険物とほぼ同時進行で行った「堀川エロポットコンテスト」に向けてのロボットの作成に取り組みしました。危険物では、授業で先生方に教えて頂きました。部活動では、1年生に、先生方に教えて頂いたものを全て教えていきました。それとプラスに講習もして頂いたおかげで部員五名中四名が合格するという高成績を出すことができました。6月から始めた堀川エロポットコンテストのロボット作成には、我が校の実習室の全て(施設・溶接・電気実習室を最大限に活用したり、学校内や公共の場所から回収したペットボトルを使用しました。ペットボトルの本数は、2Lが60本、500mlが256本の合計316本集めることが出来ました。そしてペットボトルの舟を作りしました。そのため、表彰式では「リサイクル賞」と「特別賞」を受賞することができました。今後は、危険物乙4と、ロボット相撲に取り組みしたいと思います。また、たくさんの方の協力のもとで取り組んでいることへの感謝を大切にしています。

平成23年度 享栄同窓会事業報告書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 7日	享栄高等学校 入学式 608名(学校:本校体育館)	11月16日	享栄会報7,000部発刊 5,700部発送
4月13日	会計監査(学校に於いて 平成22年度決算書)	2月17日	役員会(名古屋国際ホテル)
4月16日	役員・常任幹事会 (役員13名、常任幹事12名、学校3名)	2月23日	享栄高等学校 卒業式予行 細江会長より同窓会入会と奨学金について説明
6月18日	総会・懇親会 95名(名古屋国際ホテル)	2月24日	享栄高等学校 卒業式 464名(名古屋市公会堂) 同窓会長賞贈呈 機械科 久野 誠 他3名
7月21日	享栄会報第38号原稿依頼		
10月21日	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ (名古屋国際ホテル)		

平成23年度 享栄同窓会決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

基本金の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	928,000	卒業生464名×2,000=928,000
受 取 利 息	5,290	
前年度繰越金	11,672,080	平成22年度から
合 計	12,605,370	

一般会計の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	3,722,000	卒業生464名×8,000=3,712,000 その他10,000
協 賛 金	90,000	同窓会報広告掲載費
受 取 利 息	2,353	
総会参加費	251,000	
前年度繰越金	13,171,272	平成22年度から
合 計	17,236,625	

基本金会計繰越内訳	
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普597241	8,409,754
ゆうちょ銀行 定期貯金	4,195,616
合計	12,605,370

一般会計繰越内訳	
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普594305	6,631,924
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 定期1184858	4,202,637
ゆうちょ銀行 0085-5-57903	129,300
ゆうちょ銀行 定額	3,000,640
現金	226,516
合計	14,191,017

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
次年度繰越金	12,605,370	平成24年度へ
合 計	12,605,370	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	100,275	総会・優良卒業生記念品購入費
会 合 費	210,997	役員会及び幹事会等
慶 弔 費	9,900	卒業式祝花・葬儀生花・香典代等
消 耗 品 費	13,899	事務局パソコン買い替え 他
手 数 料	175,806	振込手数料・データ返還費用等
印 刷 費	610,680	会則、幹事会案内状・会報等印刷費
通 信 費	421,547	幹事会・役員会案内状・会報等発送料
旅 費 交 通 費	11,860	
協 賛 費	24,000	学校祭・同期会等協賛費
総 会 費	866,644	国際ホテル支払い分
奨 学 費	600,000	6名×100,000
次年度繰越金	14,191,017	平成24年度へ
合 計	17,236,625	

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの享栄同窓会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成24年4月25日

監査者

安藤 敏 二
平 孝 政 見 栄

「良い品を心をこめて皆様へ」

スポーツショップ **ミズノ**

野球・ゴルフ・スポーツ全般

SPORTS SHOP

名古屋市南区笠寺西之門5
TEL 052-821-5474

水 野 光 尚 (昭和 46 年卒業)



平成24年度 享栄同窓会事業計画

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

月 日	摘 要	主 な 事 業 内 容
4 月 7 日	享栄高等学校 入学式 614名	(1) 総会実施に関する事項
4 月 2 5 日	会計監査	(2) 享栄同窓会報発刊に関する事項
4 月 2 5 日	役員・常任幹事会(名古屋国際ホテル 18時)	(3) 成績優秀な卒業生に対して記念品贈呈に関する事項
6 月 1 6 日	総会・懇親会(名古屋国際ホテル 17時)	(4) 慶弔に関する事項
7 月 2 1 日	享栄会報39号 原稿依頼	(5) その他必要に関する事項
1 0 月 2 3 日	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ	
1 1 月 中 旬	享栄会報7,500部発刊予定	
2 月 中 旬	役員会	
2 月 2 0 日	享栄高等学校 卒業式予行練習	
	細江会長より同窓会入会と奨学金について説明	
2 月 2 1 日	享栄高等学校 卒業式 名古屋市公会堂	

平成24年度 享栄同窓会予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

基本金の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	848,000	卒業生424名×2,000=848,000
受 取 利 息	6,000	
前年度繰越金	12,605,370	平成23年度から
合 計	13,459,370	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
100周年寄附金	5,000,000	享栄学園100周年記念事業
次年度繰越金	8,459,370	平成25年度へ
合 計	13,459,370	

一般会計の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	3,442,000	卒業生424名×8,000=3,392,000 その他50,000
協 賛 金	100,000	同窓会報広告掲載費
受 取 利 息	3,000	
総会参加会費	250,000	
前年度繰越金	14,191,017	平成23年度から
合 計	17,986,017	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	200,000	総会及び優良卒業生記念品購入
会 合 費	400,000	役員会及び幹事会
慶 弔 費	50,000	香典、生花、御祝金等
消 耗 品 費	80,000	事務用消耗品費等
手 数 料	180,000	振込手数料、発送諸費用
印 刷 費	600,000	会報・役員会案内状等印刷費
通 信 費	700,000	会報・役員会案内状会報等送料
旅 費 交 通 費	15,000	タクシー等旅費
協 賛 費	30,000	学校祭・同期会協賛費
総 会 費	1,200,000	総会会場費・懇親会費用
奨 学 金	600,000	6名×100,000
次年度繰越金	13,931,017	平成25年度へ
合 計	17,986,017	

重量 鳶

大型空調機等をオフィス・病院・工場に設置し
快適な生活空間創りで社会に貢献

株式会社 中央組

名古屋市中村区並木1丁目60番地

代表取締役 北田 哲也 (昭和63年卒業)



享栄会報の送付について

拝啓、日頃から享栄同窓会運営に関し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年11月発刊しました享栄会報第38号にて、お知らせした通り第39号からは享栄高等学校ホームページ内の同窓会から享栄会報を閲覧していただくように変更をお願いしました。

しかし平成25年11月に学校法人享栄学園が創立100周年を迎えるにあたり、享栄高等学校より創立100周年記念事業に対して享栄同窓会に協力の依頼がありました。

早速、役員会にて審議しましたところ、大変おめでたい事で有るので同窓会としても是非協力をしたいとのご承諾をいただきました。

従いまして、享栄会報第39号は従来どおり、会員の皆様に郵送とし、「享栄学園100周年記念事業総合募金のご案内」を同封させていただく事としました。

享栄同窓会の会員の皆様方におかれましても、諸情勢厳しき折柄、恐縮では有りますが享栄学園100周年記念事業の趣旨にご理解をいただきまして、是非多数の方のご協力をいただきますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

平成24年11月吉日

享栄同窓会 会長 細江利夫

同窓会事務局からのお知らせ

平成13年9月から享栄高等学校のホームページが開設された事はすでにご報告済みです。その中に享栄同窓会のホームページも開かれており、何時でも同窓会の情報に接する事が出来ます。

ホームページアドレス

<http://www.kyoei-h.ed.jp>

平成10年から享栄同窓会終身会員制度が設けられました。会則によって会費納入が一万円になった方は、終身会員に登録され、以後の会費納入が不要となりました。又平成10年以降の卒業生の方は、全員卒業時に終身会員として、一万円納入頂いております。

編集後記

第39号も皆様のご協力により発刊することができました。今号からホームページで閲覧していただくようご案内していただきましたが、来年100周年を迎える関係で、会員皆様に郵送させていただきました。同窓生のご活躍と母校の発展をお伝えすることができました。ご多忙中寄稿していただいた方には誠にありがとうございます。この会報もホームページに載せてありますのでお友達にもお知らせ下さい。

(同窓会事務局)

平成24年度享栄同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年度
名誉会長	佐治 晴夫	理事長
相談役	塩田 郁夫	昭和17年
会 長	細江 利夫	昭和40年
副 会 長	澤山 晃	昭和32年
〃	岩月 宏之	昭和36年
〃	長谷川 翠	昭和40年
〃	西脇いずみ	昭和42年
〃	山中 庄吾	昭和47年
〃	兼本 尚浩	昭和50年
〃	名倉 誠司	昭和56年
〃	植木 広次	昭和59年
〃	畑中 清詞	昭和60年
〃	遠藤隆一郎	平成 2年
〃	大林 順子	平成 5年
監 事	本多 清治	昭和35年
〃	神谷 新恵	昭和35年
事務局長	柴垣 旭延	昭和35年
事 務 局	加藤 聖大	平成12年
会計(事務長)	佐藤 友昭	昭和63年